SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsについて考えよう！

『目標12：つくる責任　つかう責任』

SDGs※（持続可能な開発目標）とは、
2015年9月に国連サミットで定められた、
2016年から2030年までの達成を目指す
国際目標のことで、17の目標が掲げられています。
SDGsの達成に向けて、個人ができることは
多くあります。身近な「食や健康」に関連のある
目標について考えてみましょう！

※　Sustainable Development Goalsの略語

12 つくる責任 つかう責任

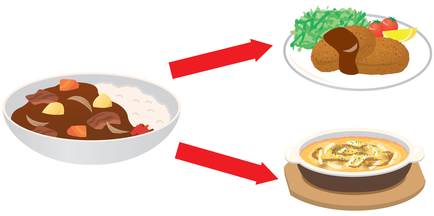
なぜ目標12が必要なの？
～食品ロスの観点から～

世界では、約8億人が飢えに苦しんでいる一方で、生産された食糧の3分の1が捨てられています。2050年には人口が96億人に達し、さらに多くの人が飢餓に苦しむとされています。無駄な食品ロスを削減し、持続可能な地球環境を維持していくことが重要です。

◆ 私たちができること

食材を買いすぎず買った食材は使い切る

必要な分だけ購入！



余ったおかずで別メニュー

食品の期限表示の管理をする

食べきれる分を注文し、食べ残しをしない

参考：SDGs ジャーナル、SDGs one by one、環境省ホームページ

© 2021 シダックス栄養士会
ヘルシーメモ　N0.2108